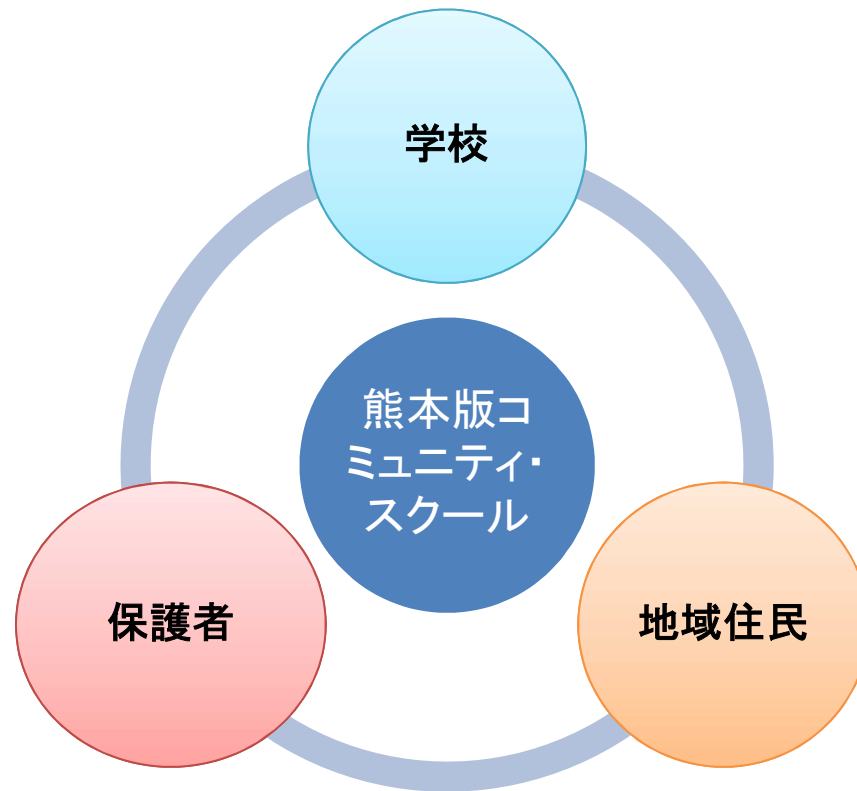


平成26年度「学校のマネジメント力強化セミナー」

コミュニティ・スクール推進に向けて 教育行政が担う役割について



期日：平成27年2月13日（金） 場所：文部科学省

熊本県教育委員会

地域に開かれた学校づくりに関する本県の取組

熊本県教育振興基本計画「くまもと『夢への架け橋』教育プラン」

平成21年度～平成25年度までの5年間

(1)「地域の寺子屋づくりの推進」

○地域の協力を得て、放課後子ども教室や学校支援地域本部など、学校を核とした「地域の寺子屋」づくりを推進します。

(2)コミュニティ・スクールの導入

○保護者や地域の方が学校運営に参加するコミュニティ・スクールの導入を推進します。

(3)土曜授業の推進

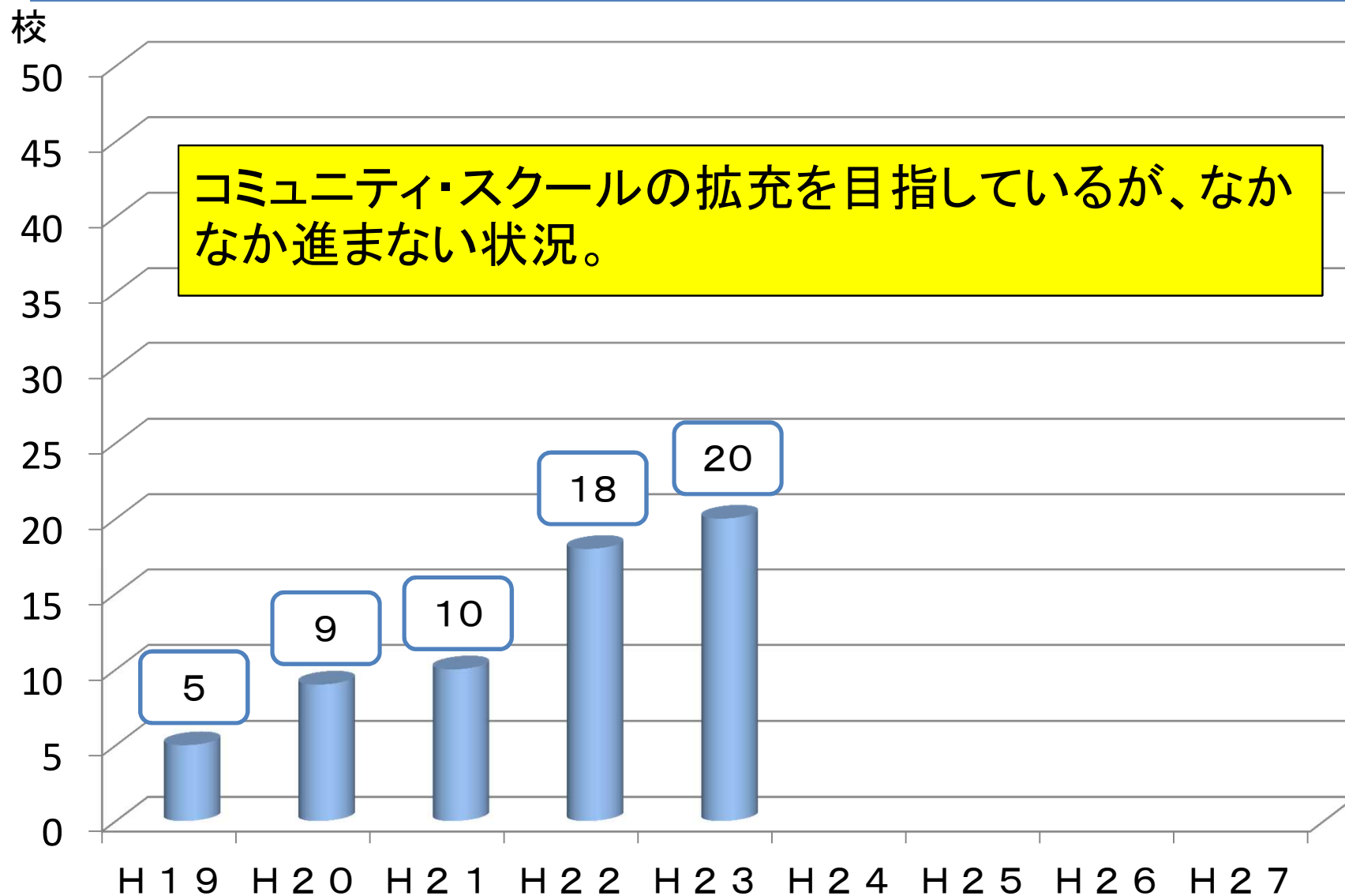
○地域に開かれた学校づくりの観点から、地域と連携した土曜授業を推進します。

(4)地域の人材の活用

○運動部活動に地域のスポーツ人材を活用します。

地域に開かれ信頼される学校づくり ～地域の声を学校運営に生かす～

平成23年度までのコミュニティ・スクールの指定状況



コミュニティ・スクールの導入が進まない理由

- コミュニティ・スクールについての理解が不十分
 - ※ 新しい制度へのとまどいや研修体制、類似制度との区別等
- 学校運営協議会の権限の高さ
- 学校運営協議会設置による学校の負担感や多忙感の想起
- 報償費等、市町村教育委員会の財政的負担 等



熊本版コミュニティ・スクール導入の必要性

法的な整備等を簡略化した熊本版コミュニティ・スクールをすべての学校で導入することを目指し、その後、段階的にコミュニティ・スクールへの移行を図る。

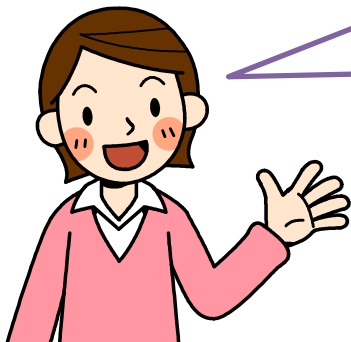
熊本版コミュニティ・スクールとは？

目的

コミュニティ・スクール指定校以外の学校において、コミュニティ・スクールへの移行を視野に入れ、教育活動の充実及びよりよい教育の実現に向けて、家庭や地域と連携・協働して児童生徒の豊かな成長を支えていく仕組みを整えるとともに、開かれた信頼される学校づくりを更に推進する。

熊本版コミュニティ・スクールとは？

コミュニティ・スクールに指定されていない学校が主体的に、保護者と地域の方々が参加する協議会を設置し、各学校の教育課題等を共有し、その解決や改善に向けて、共に話し合い、協力し、一体となって組織的かつ継続的に教育に当たる仕組み



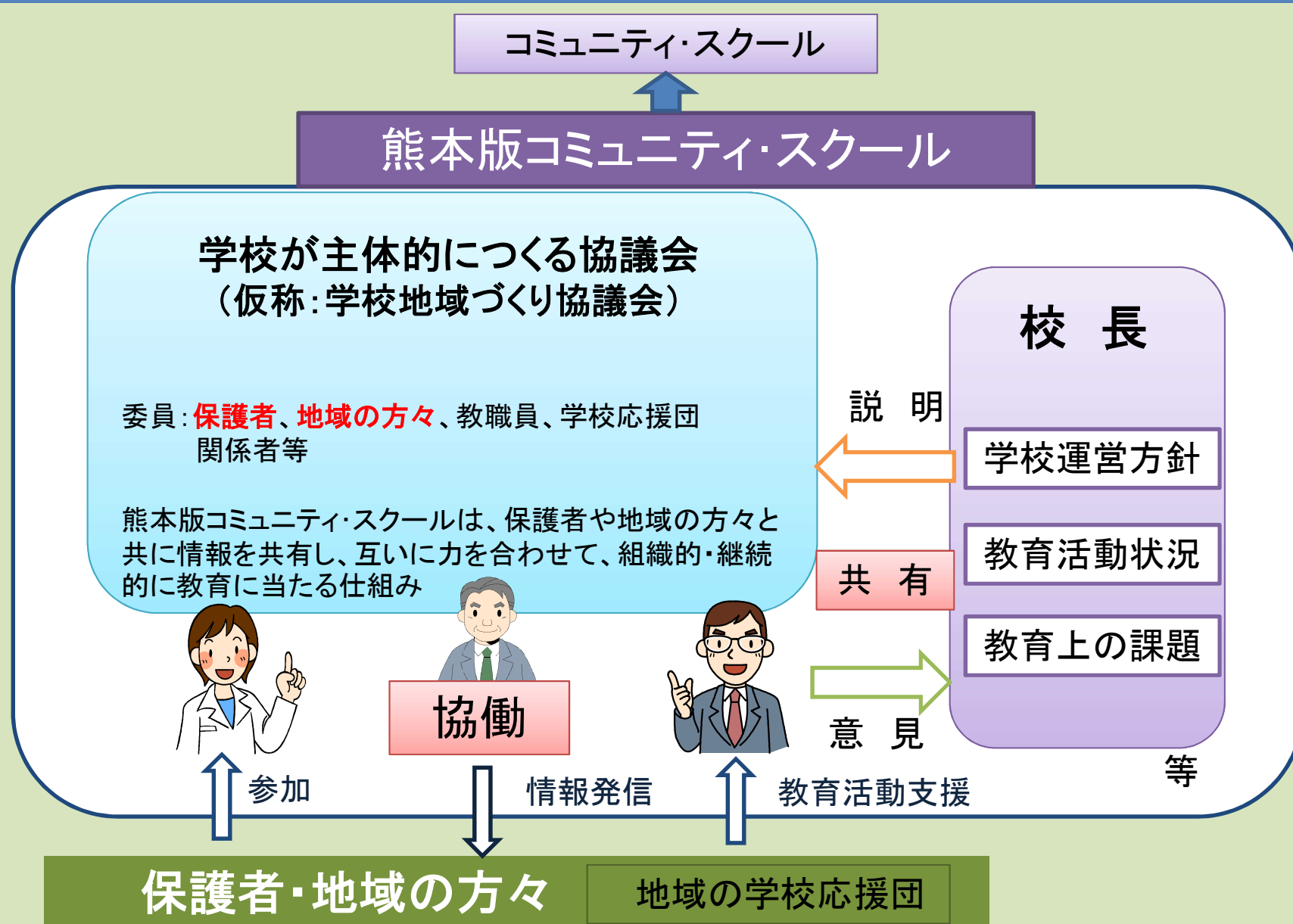
Point

- 各学校が主体となり協議会を設置する。
- 協議会の委員として保護者や地域住民を含める。
- 他の要件については、各学校の実態により学校で規定する。

コミュニティ・スクールと熊本版コミュニティ・スクールとの違い

	コミュニティ・スクール	熊本版コミュニティ・スクール
規則や要項等	市町村教育委員会が規則で定める	各学校が実態により要綱等を作成
協議会等	学校運営協議会 (市町村教育委員会が設置)	仮称: 学校地域づくり協議会等 (各学校が実態により設置)
委員	市町村教育委員会が任命 ※保護者及び地域住民等	各学校が依頼 ※保護者及び地域住民等
権限や役割等	①校長の運営方針の承認 ②学校運営に関する意見 ③教職員の任用に関する意見	①学校運営方針の周知と共有 ②学校の課題や情報等の共有 ③課題解決に向けた協議

地域と共に創る「熊本版コミュニティ・スクール」の設置イメージ



県のこれまでの取組

【平成24年度の取組】

- ・地域と共に創る熊本版コミュニティ・スクール推進事業研究推進校の指定
 - ①上天草市立姫戸小学校
 - ②益城町立益城中央小学校
- ・熊本版コミュニティ・スクール推進シンポジウムの実施
- ・啓発リーフレットを作成し、各市町村教育委員会及び各学校に配付

【平成25年度の取組】

- ・啓発リーフレットをもとに各教育事務所で指導
- ・熊本版コミュニティ・スクール推進シンポジウムの実施
- ・地域と共に創る熊本版コミュニティ・スクール推進事業研究推進校の研究発表

【平成26年度の取組】

- ・熊本版コミュニティ・スクール地区別推進シンポジウムの実施
(県下の教育関係者、地域住民への啓発及び拡充を図るため、全管内で平成27年度まで地区別に実施。)

平成24・25年度の取組①

熊本版コミュニティ・スクール推進事業研究推進校

熊本版コミュニティ・スクールについて実践研究し、その成果を全県的に広く普及することにより、本県におけるコミュニティ・スクールの拡充を図るため、研究推進校を有する市町村に対し補助金を交付する。

【主な研究テーマ】

- (1) 地域と共に学校運営等について協議する組織づくりに関すること
- (2) 熊本版コミュニティ・スクールで設置した協議会における次の内容に関すること
 - ア 学校運営方針の周知と共有
 - イ 学校の課題や情報等の共有
 - ウ いじめ等の情報の共有
 - エ 学校の課題の解決に向けた協議
- (3) 学校の課題解決に向けた連携・協働
- (4) その他、本事業の目的達成に必要な取組

益城町立益城中央小学校

既存の組織を生かした協議会設置



上天草市立姫戸小学校

協議会における教育ビジョンの共有



平成24・25年度の取組② 熊本版コミュニティ・スクール推進シンポジウム

【趣旨】

実践事例等をもとに熊本版コミュニティ・スクールについての趣旨の理解を深め、その導入を進めるとともに、コミュニティ・スクールの導入の拡充による地域に開かれた学校づくりの一層の推進を図る。

【講師・参加者】

- ・文部科学省事業による講師派遣
- ・各教育事務所コミュニティ・スクール担当指導主事等
- ・実践発表校
- ・各市町村教育委員会担当者
- ・学校関係者 ・その他、PTA関係者等、参加を希望する者

※当日の参加者数：127名

【内容】

- ・講演 「コミュニティ・スクールの推進と学校運営のあり方」
- ・義務教育課 行政説明
- ・実践発表（益城町立益城中央小学校、上天草市立姫戸小学校）
- ・班別協議
「協議会を設置するにあたり、課題と予想されること」
「協議会のメンバー構成、協議内容について」

平成24・25年度の取組③

熊本版コミュニティ・スクール啓発リーフレット

熊本版コミュニティ・スクールについての趣旨の理解を深めるために、平成25年4月に、すべての市町村教育委員会及びすべての小中学校に配付！

地域と共に創る 熊本版コミュニティ・スクール

～学校・家庭・地域が一体となってよりよい教育の実現を目指す～

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

熊本版コミュニティ・スクール

学校が主体的につくる協議会
(仮称:学校地域づくり協議会)

委員:保護者、地域の方々、教職員、学校応援団関係者等

熊本版コミュニティ・スクールは、コミュニティ・スクールに指定されていない学校が主体的に、保護者と地域の方々が参加する協議会を設置し、各学校の教育課題等を共有し、その解決や改善に向けて、共に話し合い、協力し、一体となって組織的かつ継続的に教育に当たる仕組み

校長

説明

学校運営方針

教育活動状況

共有

学校の課題

等

共通目標の共有

意見

協働

共通目標に沿った活動

地域の既存の組織・団体(基礎学力向上システム・学校支援地域本部等)

社会がますます複雑多様化し、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化する中で、これからの学校はこれまで以上に家庭、地域との連携・協力のもとに教育を進めていくことが重要です。

本県では、熊本県教育振興基本計画「くまも「夢への架け橋」教育プラン」に基づき、コミュニティ・スクールの導入等、開かれた学校づくりを積極的に推進しています。その一層の推進に向けて、コミュニティ・スクールへの移行を視野に入れ、保護者や地域の方々と連携・協働して、子どもたちの成長を支えていく学校の仕組みとして「熊本版コミュニティ・スクール」を提案します。

熊本版コミュニティ・スクールとは、コミュニティ・スクールに指定されていない学校が主体的に、保護者と地域の方々が参加する協議会(名称は各学校で工夫を)を設置し、各学校の教育課題等を共有し、その解決や改善に向けて、共に話し合い、協力し、一体となって組織的かつ継続的に教育に当たる仕組みのことです。

すべての学校が、この仕組みの導入を通して、保護者や地域の方々と共に、地域に開かれ信頼される学校づくりを目指しましょう。

平成25年3月
熊本県教育委員会

熊本版 コミュニティ スクール

地域全体で子どもの教育を考える場として

地域に開かれた学校づくりに当たる仕組みをつくる

熊本版コミュニティ・スクールの協議会の設置

協議会設置に向けて

まずは協議会の構成メンバーを考える！

- 協議会のメンバーには、保護者と地域住民の方々に参加していただくこと
- 地域の既存の組織や団体等の協力を得て、学校や地域の実態に応じた無理のない構成を考えること

メンバー構成例

教育上の課題解決や学校の教育活動の改善、学校運営方針に応じたメンバー構成も考えられます。

生徒指導

いじめに関する問題

学校評価の充実

学力向上

校種間連携

協議会の設置イメージ(例)

学校

教職員

学校が主体的につくる協議会
保護者と地域の方々

保護者

協働

地域住民

PTA等

地域
基礎学力向上システム
学校支援地域本部等

地域住民

- 市町村教育委員会の承認を得て、学校評議員に協力をいただくことも考えられます。
- 基礎学力向上システムや学校支援地域本部等、既存の組織や団体のコーディネーターに参加していただくことにより、より一体となった取組につながります。

保護者

- P.T.Aの協力を得て、その代表に参加していただくことも考えられます。

平成26年度の取組 熊本版コミュニティ・スクール地区別推進シンポジウム①

【実施の背景】

各管内の多くの学校関係者、教育委員会関係者、地域住民、PTA等へ周知することにより、コミュニティ・スクール及び熊本版コミュニティ・スクールの更なる拡充を図る必要がある。

平成26年度

- 1 菊池教育事務所管内
- 2 上益城教育事務所管内
- 3 八代教育事務所管内
- 4 芦北教育事務所管内
- 5 天草教育事務所管内



地区別シンポジウムの様子



平成27年度

- 6 宇城教育事務所管内
- 7 玉名教育事務所管内
- 8 山鹿市教育委員会
- 9 阿蘇教育事務所管内
- 10 球磨教育事務所管内

平成26年度の取組 熊本版コミュニティ・スクール地区別推進シンポジウム②

【地区別推進シンポジウム参加者の声】

「熊本版コミュニティ・スクールのねらいがよく理解できた。」(小・校長)

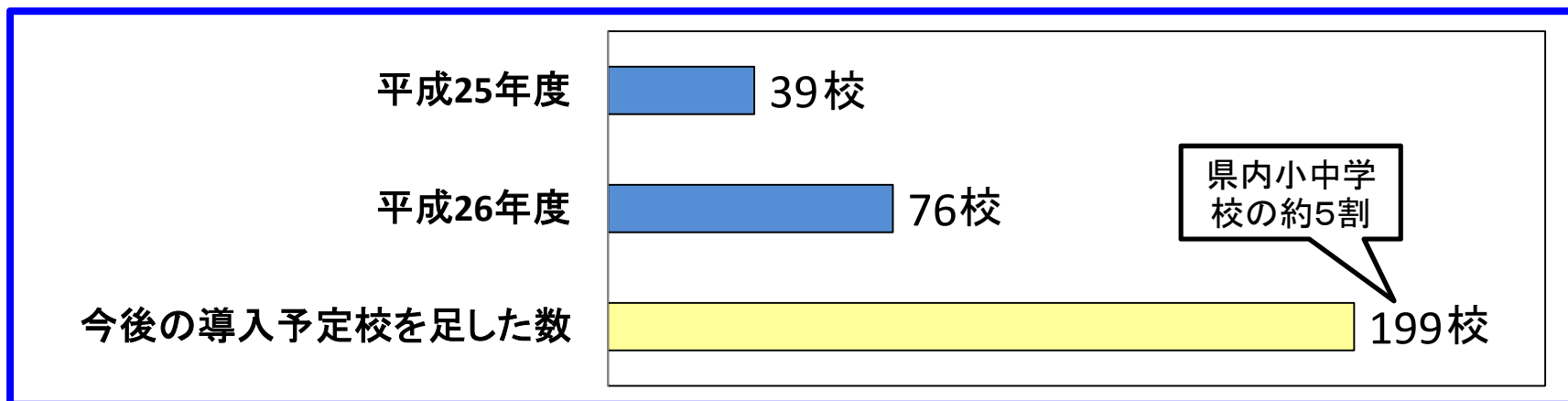
「熊本版コミュニティ・スクールの目的、内容、他の組織との違いがよく理解できた。また、熊本版コミュニティ・スクールの立ち上げの具体的な手順等を説明してもらい、大変わかりやすかった。」(小・教頭)

「まずは熊本版コミュニティ・スクールを県内に広めることが第一歩となって次のステップにつながると思った。」(小・保護者)

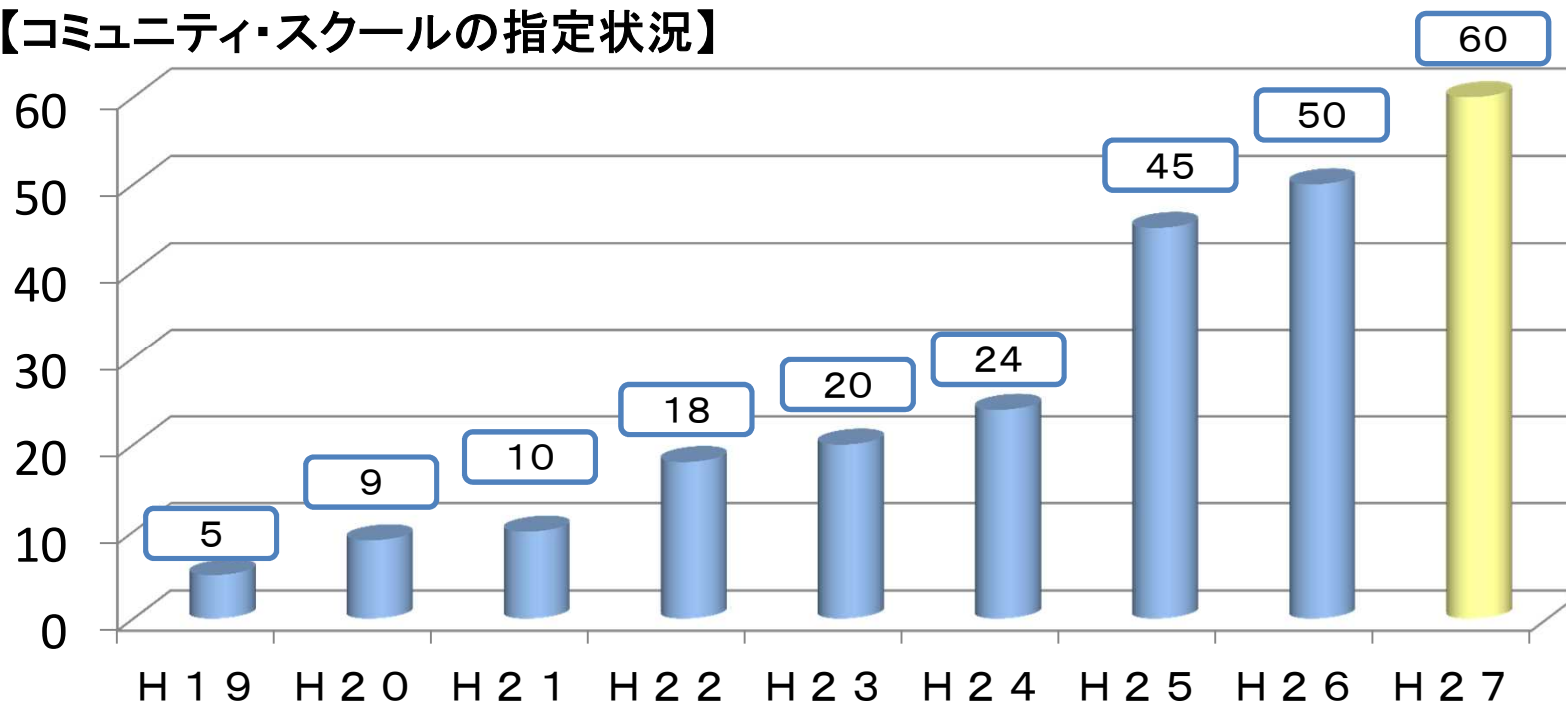
「既存の組織をどのように活用していくべきなのかなど、多くのヒントをもらった。」(中・校長)

熊本版コミュニティ・スクール推進事業の成果について

【熊本版コミュニティ・スクール導入校の推移】



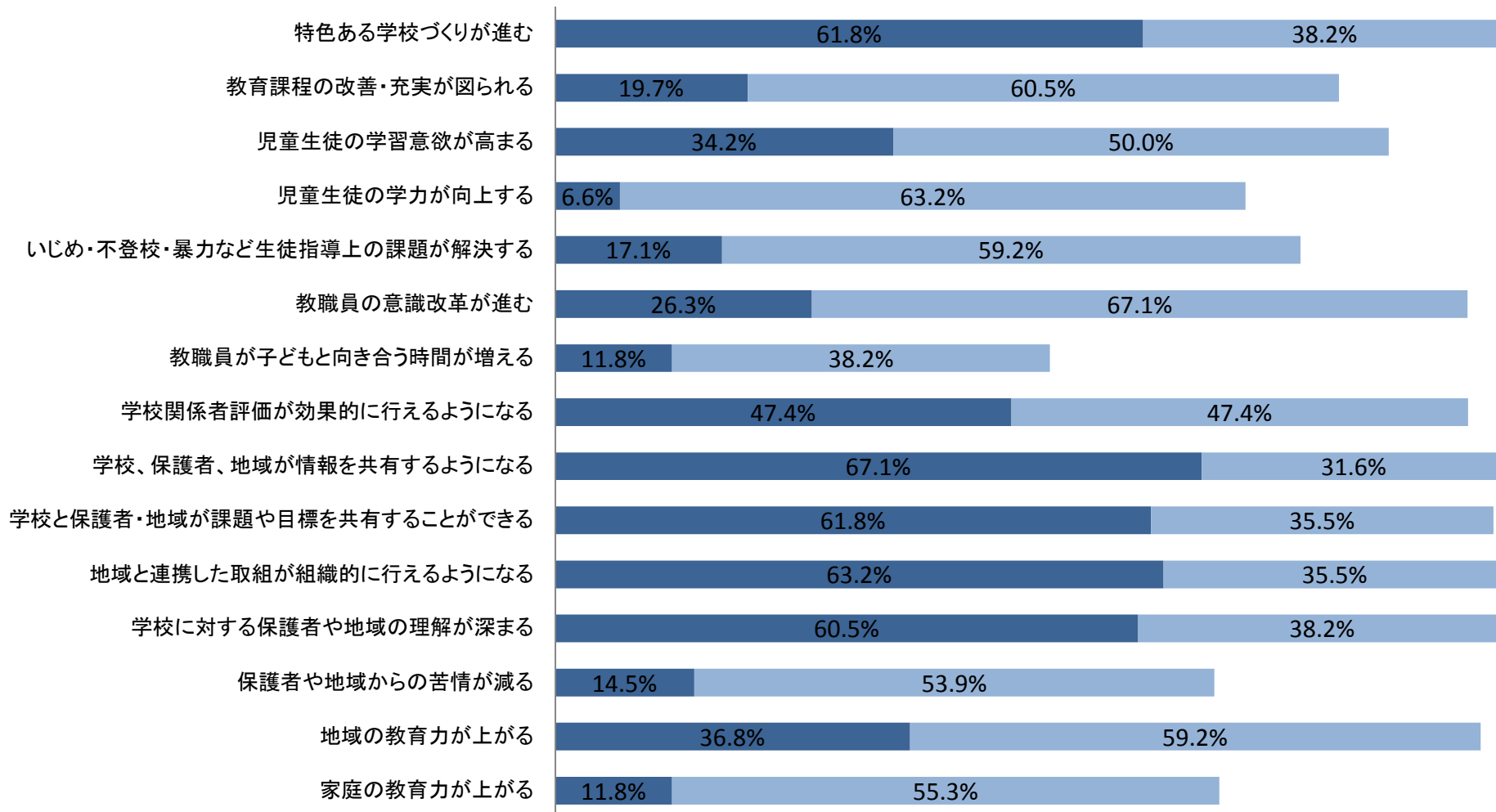
【コミュニティ・スクールの指定状況】



熊本版コミュニティ・スクールの成果について

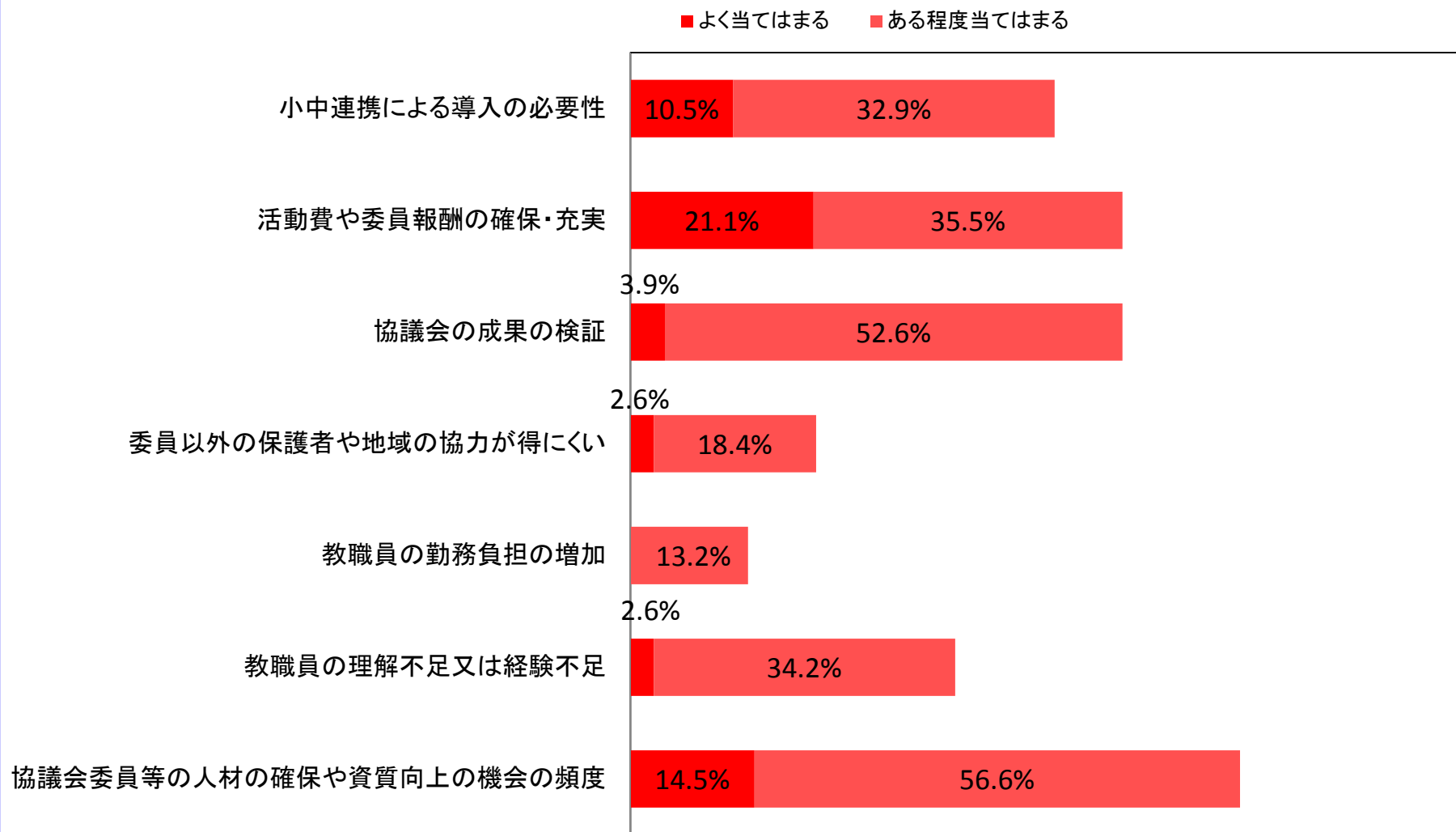
熊本版コミュニティ・スクール推進状況等調査(H27.1)

■ よく当てはまる ■ ある程度当てはまる



熊本版コミュニティ・スクールの課題について

熊本版コミュニティ・スクール推進状況等調査(H27.1)



コミュニティ・スクールの成果と課題

コミュニティ・スクールの成果と課題

【成果】

- 特色ある学校づくりを進めること。
- 学校、保護者、地域が情報、課題、目標を共有すること。
- 児童生徒の学力が向上すること。
- 教職員の意識改革が進むこと。

【課題】

- 学校運営協議会委員等の人材の確保や資質向上の機会が充実すること。
- 活動費や委員報酬が確保・充実すること。
- 学校運営協議会の成果が検証されること。
- 管理職や教職員の勤務負担が増加すること。

熊本版コミュニティ・スクールの成果と課題

【成果】

- 特色ある学校づくりを進めること。
- 学校、保護者、地域が情報、課題、目標を共有すること。
- 地域と連携した組織的な取組が進められること。
- 学校に対する保護者や地域の理解が進むこと。

【課題】

- 学校運営協議会委員等の人材の確保や資質向上の機会が充実すること。
- 活動費や委員報酬が確保・充実すること。
- 協議会の成果が検証されること。

※コミュニティ・スクール、熊本版コミュニティ・スクールともに、委員等の人材確保や資質向上の機会の充実、活動費や委員報酬の確保等に課題がみられる。

今後の取組について

【県としての取組】

平成27年度に2年目となる地区別推進シンポジウムを開催し、熊本版コミュニティ・スクールの趣旨について全県下に周知を図る。



平成27年度までの取組の成果と課題を分析し、より効果的な推進方法について検討を進める。